

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 7月29日更新

事務事業名		移動図書館公用車等維持管理事業						☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり					所属部	教育委員会	課長名	岐部 則夫
	施策	21	生涯学習の推進					所属課	生涯学習課	担当者名	森田 由貴恵
	施策の柱	69	生涯学習施設(環境)の整備					所属班	図書館班	(内線)	2532
予算科目		会計一般	款10	項5	目8	事業連番11158	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥			
終了、開始年度		☐ 27年度で終了 ☐ 27年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	移動図書館車、配本用公用車の維持管理事業 平成7年移動図書館車による運用開始・西合志館公用車は学校図書室配本用合志館公用車は拠点配本用を目的に利用開始合併により、3館相互の貸出・返却が可能となった。そのため3館間の回送本が発生し回送用公用車としても利用している。
【業務の流れ】	公用車の車検、修理、消耗品(燃料)補充等
【主な予算費目】	修繕費、燃料費、役務費、公課費
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)		28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
西合志館公用車ー移動図書館車、配本車(バモス・軽自動車)維持管理。		1台(どんちゃん号)の車検と1台(ホンダ・バモス)の点検	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
⇒ア 公用車台数	台	移動図書館車の車検・点検費、役務費・公課費の増額	
⇒イ			
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
移動図書館車・配本用公用車		⇒ア 年間延べ走行距離	km
		⇒イ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
安全に運用される		⇒ア 公用車管理上不具合・トラブル件数	件
		⇒イ	
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠 維持管理の事業のため不具合等の件数とした。 購入より年数が経過しているため、前年度と同様の件数とした。			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込
① 活動指標	ア 台	台	2	2	2	2	2	2	2	2
	イ									
② 対象指標	ア km	km	12,332	12,433	12,000	13,212	12,000	12,000	12,000	12,000
	イ									
③ 成果指標	ア 件	件	3	2	0	3	0	0	0	0
	イ									
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	470	549	525	390	539	460	
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	470	549	525	390	539	460	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
人件 費	正 規 職 員 従 事 人 数	正規職員従事人数	人	4	4	2	4	2	2	0
		延べ業務時間	時間	42	79	60	140	60	60	0
	(B) 人件費計	(B) 人件費計	千円	167	314	239	519	239	239	0
トータルコスト(A)+(B)			千円	637	863	764	909	778	699	0

事務事業名	移動図書館公用車等維持管理事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は27年度の後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 運転手不注意による追突事故（対物）1件、タイヤ交換、バッテリー交換の3件のトラブルが発生している。
	②28年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 経年により若干の不具合が想定される。 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 現状の達成状態を維持するための事業であり、向上余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 他課との相互運用により、より資産の有効活用が図られる。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 現状で必要最低限の経費を計上している。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 維持管理のための最低限の業務時間である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 維持管理の最低限の費用のため、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 市所有の公用車のため適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

安全に運用できた。今後も安全運転に努めていく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☒事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 行政改革大綱及び合志市集中改革プランにより図書館の指定管理を検討している。指定管理後は新設した「図書館管理運営委託事業」に統合。		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							